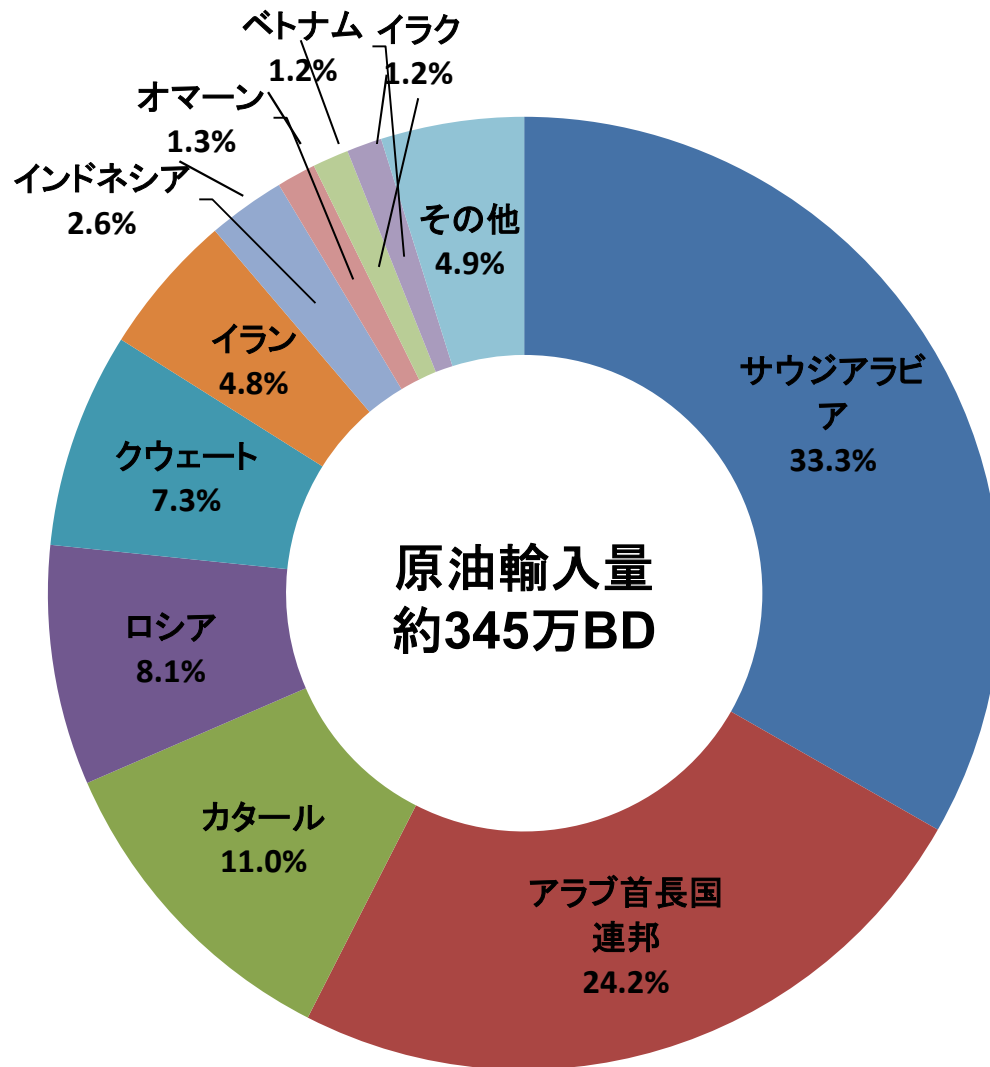


我が国のエネルギー調達状況と LNG運搬船の受注動向

化石燃料の輸入の状況

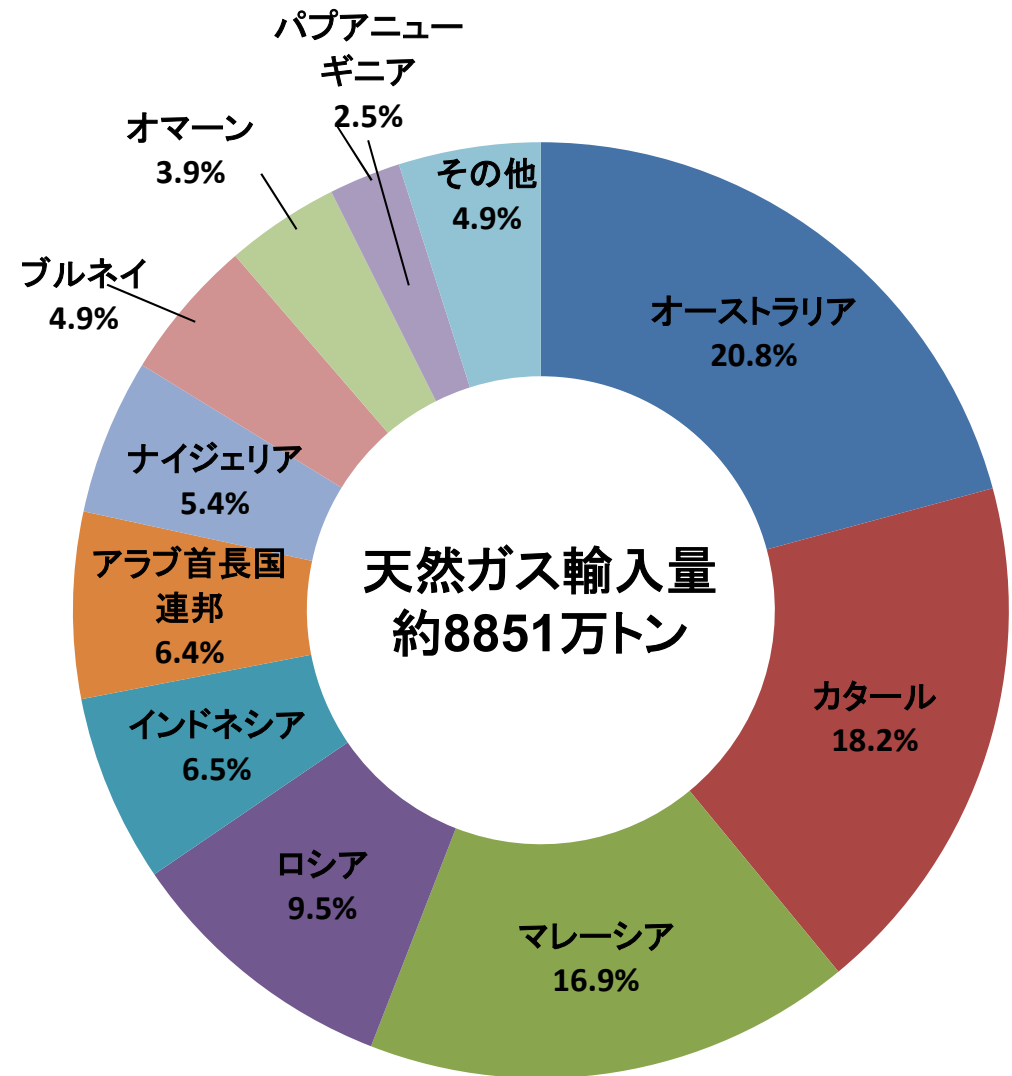
○原油は中東依存度が高く、天然ガスは豪州、東南アジア諸国への依存度が高い。

原油(2014年)



中東依存度 **82.0%**

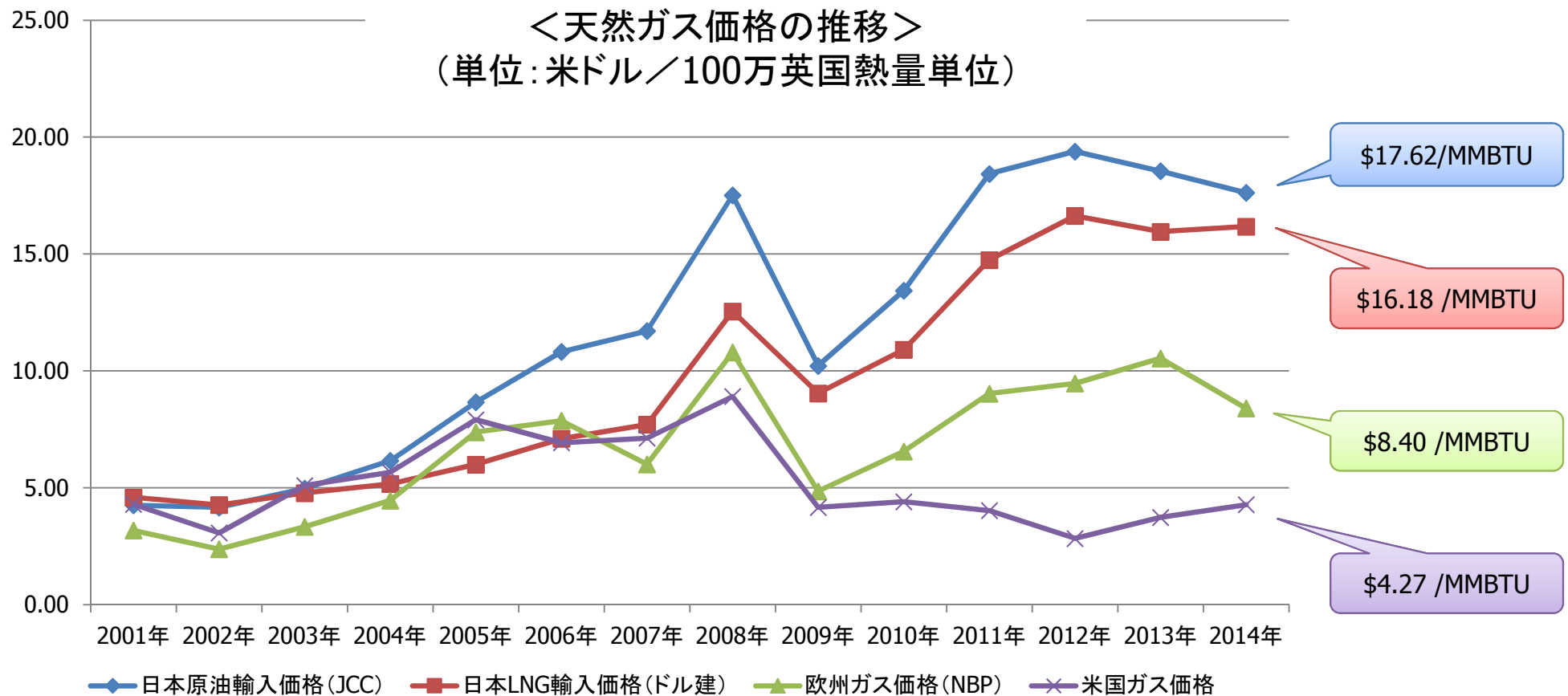
天然ガス(2014年)



中東依存度 **29.7%**

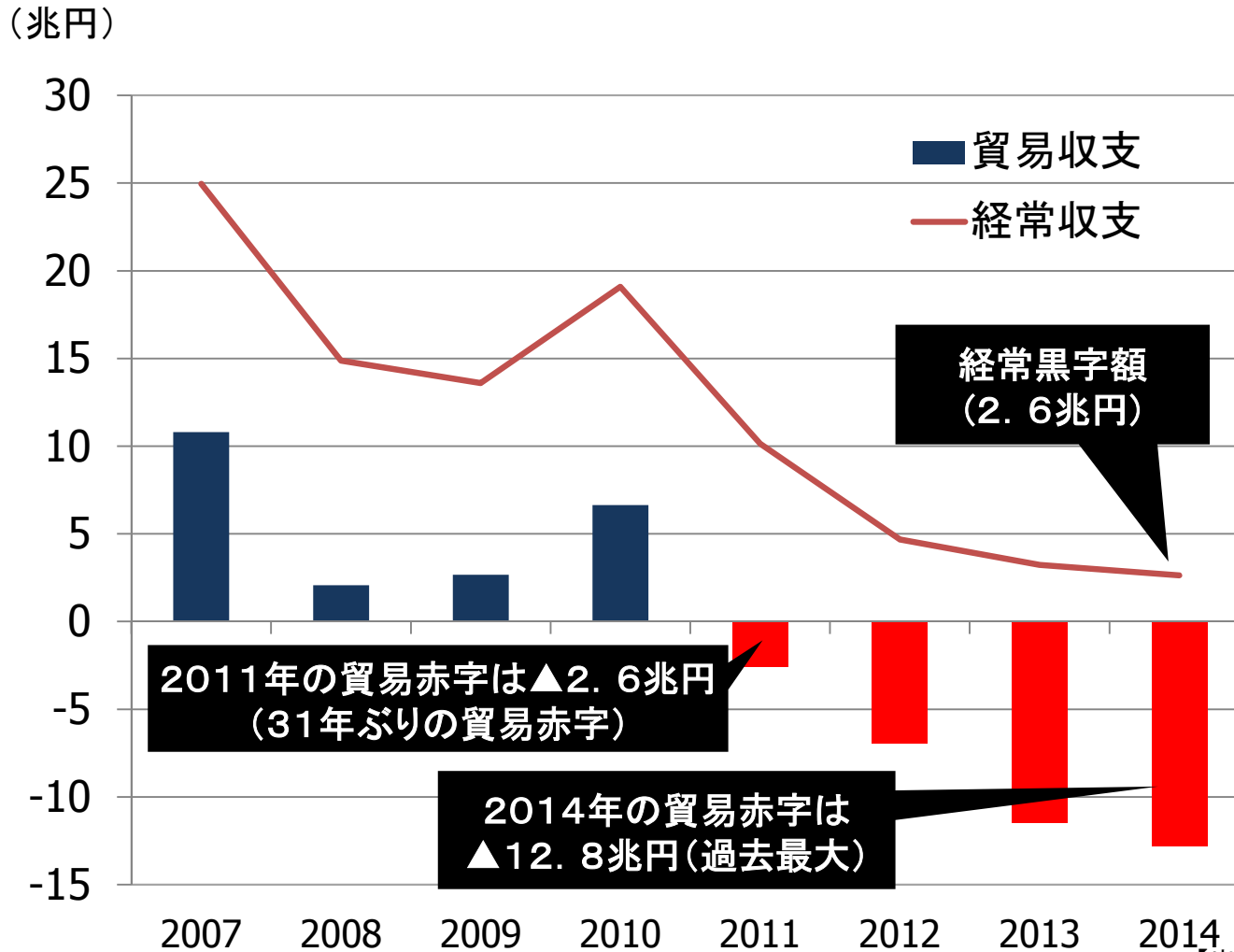
日・米・欧の天然ガス調達価格推移

- 東日本大震災後、原発停止により、火力発電(特にLNG火力)の稼働率が大幅に上昇。その結果、我が国のLNG需要は約2割増加(2010年7000万トン⇒2014年8850万トン)
- 加えて、我が国のLNG輸入価格も大きく上昇(2010年10.8ドル/MMBTU(英国熱量単位)⇒2014年16.2ドル/MMBTU)。こうした需要増・価格高騰を受け、我が国のLNG調達費が大幅に増大(2010年3.5兆円⇒2014年7.8兆円)。



貿易収支・経常収支の推移

○燃料調達費が増大した結果、2011年、我が国は31年ぶりに貿易赤字に転落。2014年は貿易赤字が12.8兆円に拡大。



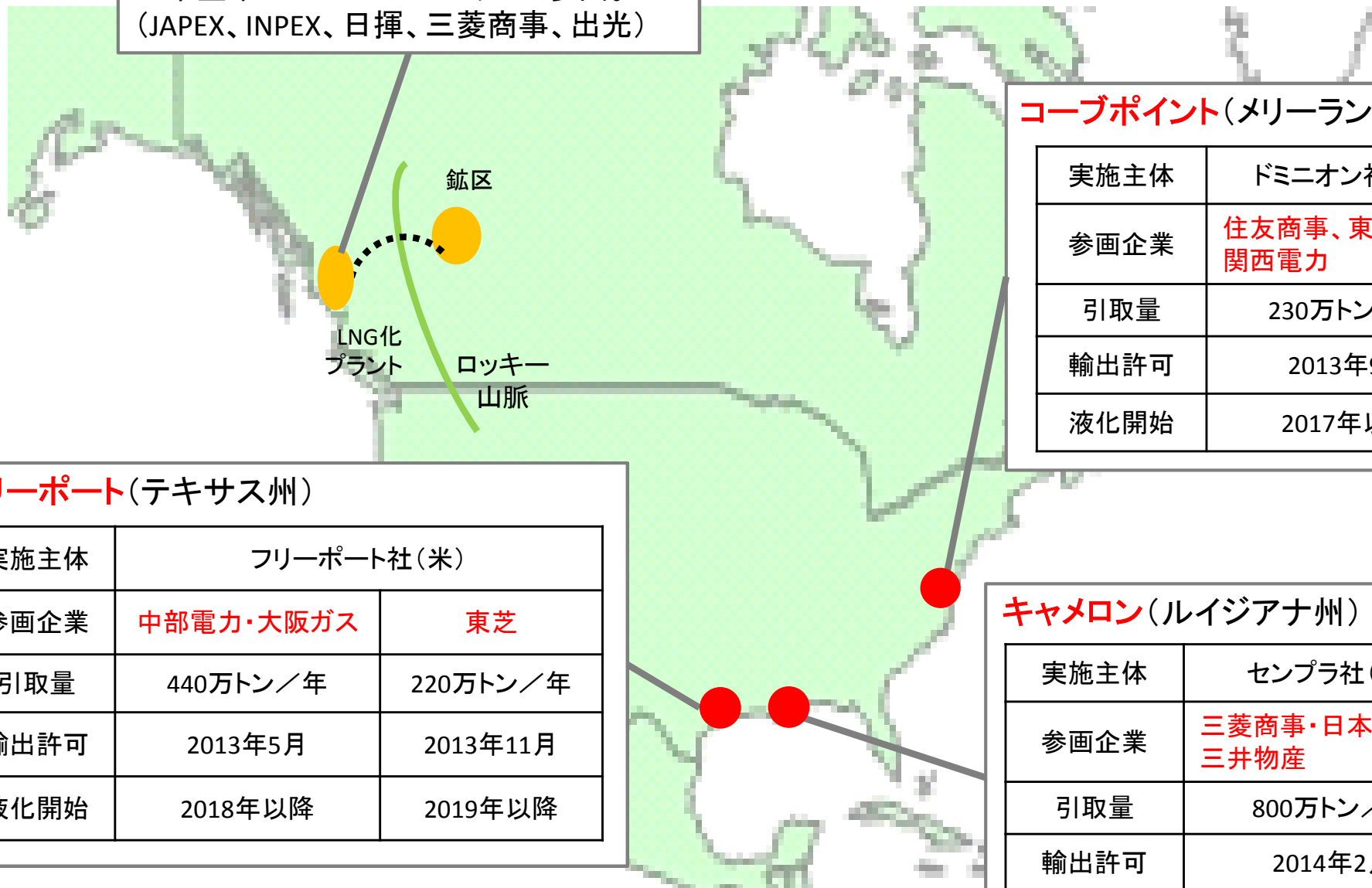
【出典】

貿易収支:財務省 貿易統計
※「総輸出額－総輸入額」を記載
経常収支:日本銀行 国際収支統計

北米におけるLNGプロジェクトについて（日本関係）

カナダ

日本企業は4つのプロジェクトに参画。
 (JAPEX、INPEX、日揮、三菱商事、出光)



コーブポイント(メリーランド州)

実施主体	ドミノン社(米)
参画企業	住友商事、東京ガス、 関西電力
引取量	230万トン／年
輸出許可	2013年9月
液化開始	2017年以降

フリーポート(テキサス州)

実施主体	フリーポート社(米)	
参画企業	中部電力・大阪ガス	東芝
引取量	440万トン／年	220万トン／年
輸出許可	2013年5月	2013年11月
液化開始	2018年以降	2019年以降

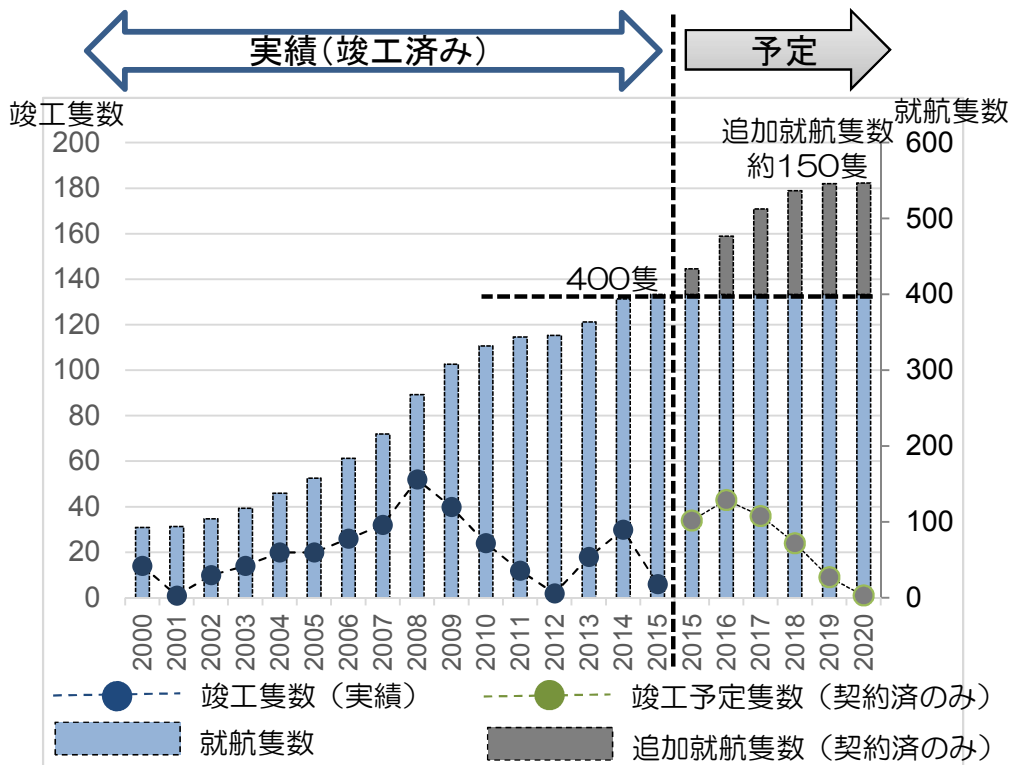
キャメロン(ルイジアナ州)

実施主体	センプラ社(米)
参画企業	三菱商事・日本郵船、 三井物産
引取量	800万トン／年
輸出許可	2014年2月
液化開始	2017年以降

LNG運搬船の受注等動向

LNG船の就航隻数と今後の見通し

- 2015年2月末時点で、400隻のLNG船が就航。
- 今後も約150隻のLNG船が竣工する見通し。



(参考) シェールガスの輸入に伴うLNG船隊整備

日本の輸入 約1200万トン※1

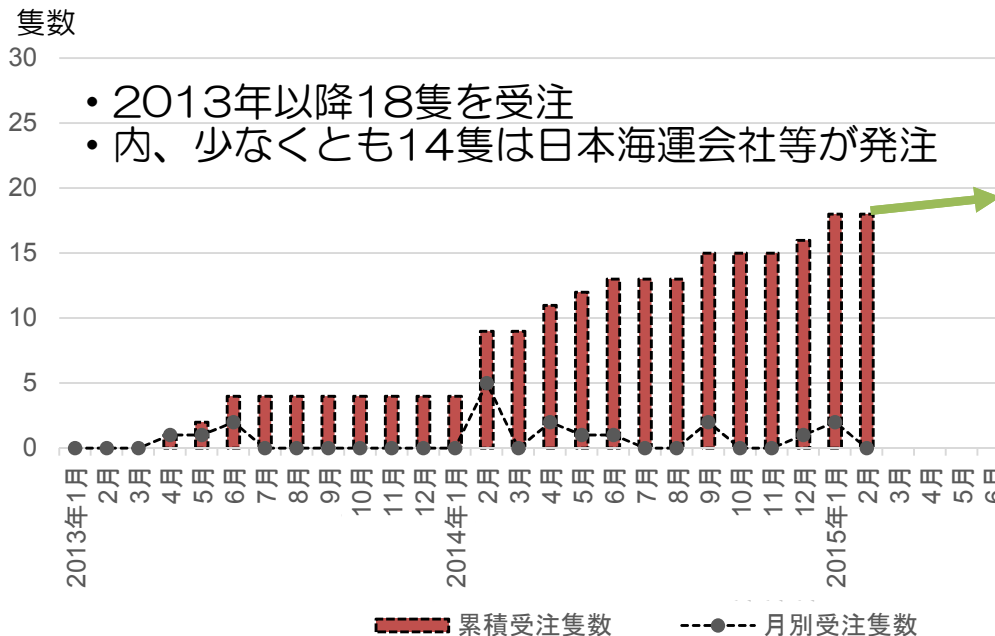
※1：報道等がなされたもの。

LNG船 20隻以上※2



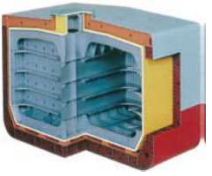
※2：8万トンの輸送が可能なLNG船が年間7航海と仮定。

我が国造船所のLNG船受注 (2013年以降契約船)

- 日本向けシェールガス輸送を担うLNG船を中心に、受注を積み上げ。



- シェールガス輸送に適したLNG船をラインナップし一定の受注を確保

モス型 (MHI, KHI)	SPB (IHI, JMU)	メンブレン (今治)
 イメージ図 (MHIホームページ)	 イメージ図 (KHIホームページ)	

11隻受注

5隻受注

2隻受注